

◆ 令和3年度 事業詳細

I 地域共生社会の実現に向けた地域福祉活動の推進

1 地域における福祉活動支援

(1) 第5次地域福祉活動計画の推進

内 容	実施回数・目標等	実 績
① 地域福祉活動計画推進事業【重点】 ア 地域福祉活動計画推進懇談会の設置及び開催	年2回	2回(11/29・2/21) *2回目は書面開催
イ 第5次計画の冊子発行及び配布、周知 	発行後、随時	随時配布 ホームページに「せんだい ai プラン特設ページ」開設
ウ 第4次計画の評価(令和2年度・最終)	11月	11月

(2) 地区社会福祉協議会活動への支援

内 容	実施回数・目標等	実 績
① 小地域福祉ネットワーク活動推進事業助成	104地区	基礎的活動助成金 104地区 19,790千円交付 生活支援活動助成金 102地区 19,726千円交付


内 容	実施回数・目標等	実 績
② 地区社協等活動助成金	104 地区	104 地区
③ 安心の福祉のまちづくり助成金 ・地区社協が行う被災者支援活動や地域コミュニティ再生・強化活動を対象とする助成事業。	20 地区	6 地区 551 千円交付
④ C S W協働推進地区への支援【重点】 ・地区社協が行う住民が主体的に地域課題を把握し、その解決を試みる活動に対して、C S Wがともに目標を共有しながら支援を行う。	12 地区(各 2 地区/区・支部)	14 地区(青葉区 3 地区/宮城支部 4 地区/宮城野区 2 地区/若林区 1 地区/太白区 2 地区/泉区 2 地区)
⑤ 地域座談会の開催【重点・新規】 ・C S W協働推進地区などにおいて、地域や当事者の方々のニーズ把握や課題整理、合意形成などを目的とする座談会を、C S Wが地区社協と協働で開催する。	12 地区(各 2 地区/区・支部)	10 地区にて開催
⑥ 「通いの場・集いの場」充実事業 ・地区社協が行うサロン活動を強化するため、小地域福祉ネットワーク活動助成の上限を超えて実施したサロンを対象とする助成事業。	104 地区	43 地区 1,227 千円交付
⑦ 新任地区社協会長・推進員研修会 ・新任の地区社協会長や地域福祉活動推進員を対象とする研修。	各 1 回	中止
⑧ 小地域福祉ネットワーク活動研修会 ・小地域福祉ネットワーク活動の担い手である地域福祉活動推進員や福祉委員などの活動者を対象とする研修。	6 回(各 1 回/区・支部)	5 回(青葉区、宮城支部、若林区、太白区、泉区) *宮城野区は中止
⑨ 新型コロナウイルス等の感染症対策に留意した地域活動支援【新規】 ア 感染症対策事業助成金の交付 ・地区社協が活動を行う際に必要な感染症対策に係る助成事業	104 地区	68 地区 2,470 千円交付
イ 感染症対策リーフレット等の発行 ・コロナ禍における活動時の留意事項をまとめたリーフレットや感染対策に留意した活動事例を必要に応じて発行し配布する。	随時	2 回発行(7 月、11 月)
⑩ 新たな地域のつながりづくり推進事業【重点・新規】		

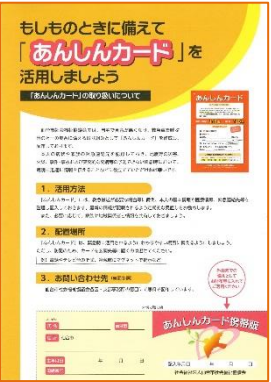
内 容	実施回数・目標等	実 績
<p>ア 新たな地域のつながりづくり推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において停止や縮小を余儀なくされた小地域福祉ネットワーク活動の再開等に向けて、様々な工夫を凝らして実施された活動事例を紹介する研修会を地区社協の活動者向けに開催し、必要に応じてCSWが個別に支援を行う。 	<p>6回（各1回/区・支部）</p> 	<p>6回（宮城野区 6/30、青葉区 7/5、太白区 7/16、若林区 9/28、宮城支部 11/15、泉区 12/6）</p>
<p>イ ICT機器を活用した活動モデル事業の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した活動にかかるモデル事業の実施について検討する。 		<p>R4年度にICT機器の貸出事業を実施予定</p>
<p>⑪ 地区社協研修専門講師派遣</p>	<p>18回（各3回/区・支部）</p>	<p>6回（青葉区1回、宮城野区3回、若林区1回、太白区1回）</p>
<p>⑫ 地区社協会長会議</p>	<p>24回（各4回/区・支部）</p>	<p>22回（青葉区2回、宮城支部5回、宮城野区3回、若林区4回、太白区4回、泉区4回）</p>
<p>⑬ 地域福祉活動推進のための活動拠点づくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の団体同士の協働を推進するため、地区社協が地域内の共同事務所としての拠点を設置する際の費用を対象とする助成事業。 	<p>6か所（各1か所/区・支部）</p>	<p>実績なし</p>
<p>⑭ 地区社協会計事務等サポート事業【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区社協の会計担当者を対象とする研修会を開催し、必要に応じてCSWが個別に相談対応を行う 	<p>年1回</p>	<p>会計研修会（3/3、59名参加）</p>
<p>⑮ 災害時要援護者の支援体制づくり推進事業</p> <p>ア 災害時要援護者情報登録制度に基づく更新リストの配布</p>	<p>年4回</p>	<p>4回</p>
<p>イ 災害時要援護者支援体制づくりに関する研修等への講師派遣</p>	<p>年11回</p>	<p>3回（宮城野区1回、泉区2回）</p>

(3) 地域包括ケアシステムの推進

内 容	実施回数・目標等	実 績
① 地域包括ケア推進事業（第1層生活支援コーディネーターの機能に係る事業）【重点】		
ア 第2層生活支援コーディネーターへの助言・支援	随時各種関係者	随時実施
イ 三者（区役所・総合支所、第2層生活支援コーディネーターと第1層生活支援コーディネーター）ミーティングへの参画	年36回（各6回/区・支部）	計110回（青葉区28回、宮城支部12回、宮城野区6回、若林区16回、太白区27回、泉区21回）
ウ 市役所とのミーティングへの参加	年6回	5回（6/23、8/25、10/27、12/22、3/9）
② 住民主体による訪問型地域支え合い活動支援及び研修等業務（受託事業）		
ア 実施団体向け研修会の開催	年2回	中止

(4) 担い手の確保及び地域活動支援

内 容	実施回数・目標等	実 績
① 地域福祉セミナーの開催 ・第5次地域福祉活動計画策定を受け、地域共生社会の実現に向けた住民主体の支え合い活動の今後のあり方を考える機会として、コロナ禍の状況に配慮しながら開催する。	年1回/125名 	11/2開催 123名参加 福祉プラザふれあいホール 「ともに生き、支えあうまち」 ～誰もが互いに尊重しあい、孤立することなく、自分らしく安心して暮らせる地域をみんなでつくる～
② 支え合い活動推進費助成金 ・市内の住民団体や福祉関係団体を対象とするネットワーク構築や地域福祉の担い手育成を目的とする研修費用等の助成事業。	10団体	3団体 120千円交付

内 容	実施回数・目標等	実 績
<p>③ あんしんカード配布事業【拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あんしんカードの活用方法をホームページに掲載するほか、携帯型のカードを試行的に作成し、活用方法を検討する。 	随時	全市統一版あんしんカード及び携帯版を各 50,000 部発行
<p>④ 地域福祉サポーター講座（大学生、社会人対象）【重点】</p>	対象ごと年 1 回	<p>学生 2 回/233 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若林区内高校、東北大学、東北学院大学、宮城学院女子大学対象 ・東北学院榴ヶ岡高等学校対象
<p>⑤ 地域のボランティア育成講座</p>	年 6 回（各 1 回/区・支部）	6 回（青葉区 11/29・12/3 延べ 51 名、宮城支部 2/14 延べ 12 名、宮城野区 2/25 延べ 15 名、若林区 6/24・7/28 延べ 48 名、太白区 2/21 延べ 36 名、泉区 12/1 延べ 28 名）
<p>⑥ 地域福祉サポーターステップアップ講座（活動者対象）</p>	年 2 回	3 回コース 2 回/延べ 63 名 1 回コース 2 回/延べ 104 名
<p>⑦ 夏のボランティア体験会</p>	年 1 回/500 名	1 回/671 名
<p>⑧ 福祉学習推進事業（学校・企業・地域対象）</p>	随時	小中学校 70 校/6,351 名
<p>⑨ 地域福祉推進のための企業との連携事業【重点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や企業からのニーズ等を集約し各種情報を掲示できるホームページ 	随時	セミナー10/14 19 社 28 名 WEB 情報交換会 2 回/延べ 10 社 10

内 容	実施回数・目標等	実 績
の運営。		名 要請 75 件/189 件 希望 502 件
⑩ コミュニティサポート活動グループ育成支援モデル事業【重点】 ・地域の課題解決に率先して取り組む活動を行う団体に対し助成金を交付し、地域活動の展開、団体支援を行う事業。	6 団体（各 1 団体/区・支部）	区・支部各 1 団体、全 6 団体に助成金交付
⑪ 子どもの居場所づくり支援事業【重点】 ・子ども食堂を実施する団体を対象とする助成、ホームページによる広報、知識習得や情報交換、ネットワーク会議の開催。	随時	子ども食堂助成 40 団体 8,721 千円交付 子ども応援団体ネットワーク会議 /2 回延べ 35 団体 39 名 各区子ども居場所ネットワーク会議/5 回延べ 46 団体 61 名
⑫ 障害理解サポーター養成研修	年 30 回	30 回（企業、市交通局、民児協、地区社協、専門学校等）
⑬ ボランティア市民活動ネットワーク会議（中間支援組織対象）	年 2 回	1 回目 6/25 29 名参加 2 回目 7/27 28 名参加
⑭ 大学とのボランティア活動の連携・協力事業（パートナーシップ協約） （ネットワーク会議、連携・協働事業）【拡充】	各大学年 1 回・協約締結大学年 1 回、随時	8/25 締結 東北生活文化大学・短期大学部 11/19 締結 宮城学院女子大学 12/20 締結 東北工業大学 情報交換会 10 月～12 月 5 大学/各 1 回 合同交流会 7 大学/教職員 13 名 学生 12 名
⑮ ボランティア活動支援事業(団体活動室、ロッカー、印刷機、帳合機他)	随時	団体活動室延べ 308 団体 1,818 名 ロッカー 817 件、印刷機 693 件、 帳合機 43 件、紙折り機 3 件、レ

内 容	実施回数・目標等	実 績
⑯ 福祉機器貸出事業（車いす、白杖、他）		ターケース 6 件 車いす 84 件、白杖 61 件
⑰ ボランティアフォーラムの開催【重点】 ・災害時支援や被災者支援をテーマに開催する。	年 1 回／150 名 	12/11 開催 146 名参加 YouTube 視聴回数 260 回
⑱ ボランティア広報・PR（ボランティア募集情報紙「にこボラ」、広報誌「ぼらせん」他）	募集紙：月 1 回 広報誌：年 4 回	募集紙：毎月発行 500 部 広報誌：年 4 回発行 2,000 部
⑲ 市内ボランティア活動調査事業	年 1 回	573 団体（41,871 名） 個人 176 名
⑳ ボランティアに関する各種相談・調整対応（マッチングポータルサイト）	随時	相談件数 5,005 件
㉑ 仙台市ボランティア連絡協議会との連携（ボランティアセンター相談業務の委託）	随時	随時実施
㉒ 仙台都市圏域や県内全市町村の社会福祉協議会間の相互支援協定等に基づく、災害ボランティアセンター設置運営に係る協力体制の整備	随時	担当者会議 2 回、幹事会 2 回、研修会 1 回
㉓ 仙台市災害ボランティアセンター体制整備事業（設置訓練、広報、人材育成、ネットワーク構築 他）  3/5 仙台防災未来フォーラムでの災害ボランティアセンター運営ワークショップの様子	年 7 回（市 1 回、各 1 回/区・支部）	区・支部設置訓練 6 回 （青葉区 10/26、支部 12/14、宮城野区 10/22、若林区 10/29、太白区 10/5、泉区 9/13） サポーター研修・養成講座 11/5 サポーター研修 15 名、養成講座 23 名参加 ネットワーク会議 6/17 開催

内 容	実施回数・目標等	実 績
⑳ フードドライブ支援事業	24 回	ハイブリット開催、12 団体 25 名 参加（内オンライン 9 名） 災害ボランティアセンターサポーター養成講座 4 回延べ 84 名
㉑ フードバンク事業	随時	24 件 寄贈 384 件（内生協 12 件） 配布 234 件（内生協 87 件）
㉒ ボランティア保険	随時	349 件 10,865 名 1,391 件 58,024 名

(5) 復興公営住宅等へのコミュニティ活性化支援

内 容	実施回数・目標等	実 績
① 地域のコミュニティ活性化のための「つなぐ・つながるプロジェクト」 【重点】		
ア 復興公営住宅自治会等情報交換会の開催	全市 1 回、各 1 回/区・支部	全市 中止、区・支部 3 回（6/29 若林区、7/5・2/7 泉区）
イ 支援団体情報や助成金情報などを掲載した「つなカタログ」の作成・発行	7 月/220 部	11 月（ホームページ掲載と各センターに配備）
ウ 復興公営住宅等交流イベント・サロンの開催支援	随時	随時
② 地域支えあいセンター事業		
ア 生活支援相談員による復興公営住宅等への個別訪問	随時	1,784 件
イ 常設支えあいセンターでの相談受付	随時	362 件
ウ 情報紙の発行や情報コーナー設置による各種支援情報の提供	情報紙：偶数月発行	6 回発行
③ 安心の福祉のまちづくり助成金【再掲】	20 地区	6 地区

(6) 地区社協活動等の周知支援

内 容	実施回数・目標等	実 績
① ホームページへの掲載 ・地区社協活動シート、サロンマップ、活動拠点、地区社協だより	104 地区	104 地区（地区社協活動シート等 随時更新）
② 地区社協向け情報紙の発行 ・社協だよりに掲載の地区社協活動の情報をまとめた冊子を作成し、地区社協に配布（福祉 de まちづくり通信を改編）	年 3 回	3 回（区版社協だより送付、コロ ナで工夫した活動事例の紹介チラ シ作成送付）
③ 広報紙「社協だよりせんだい」の発行	年 3 回（8 月、12 月、4 月）	3 回（8 月、12 月、4 月） 発行部数 370, 440 部/回

2 多様化・複雑化する地域課題に対する相談体制の強化

(1) 多機関協働による包括的支援体制構築事業

内 容	実施回数・目標等	実 績
① 多機関協働による包括的支援体制構築事業【重点・拡充】 ア 相談対応	随時	865 件
イ 関係者との連携会議等の開催・参加（地区民児協等への説明等を含む）	144 回（各 24 回/区・支部）	102 回
② コミュニティソーシャルワーク推進会議の開催等 CSWの活動や支援事例を、各関係機関と共有し、支援や連携のあり 方を検討する。今後の関係機関同士のネットワークづくりや支援の仕組 みづくり、地域単位での開催等へつなげる。	年 1 回	中止


(2) 生活困窮者の自立に向けた支援

内 容	実施回数・目標等	実 績
① 生活困窮者自立支援事業推進事業【重点・拡充】 ア 相談対応・生活困窮者自立支援事業へのつなぎ	随時	随時
イ 生活困窮者自立支援事業関係団体との連携会議への参加	年 12 回	9 回

内 容	実施回数・目標等	実 績
ウ 生活困窮者自立相談支援事業と各区・支部事務所との連絡会議の開催	72回（各12回/区・支部）	19回
エ みやぎ生協フードバンク事業との覚書に基づく食糧支援の実施	随時	寄贈12件 配布87件
② コミュニティソーシャルワーク推進会議の開催【重点・再掲】	年1回	中止
③ 貸付事業の実施 ・生活福祉資金貸付（新型コロナウイルス特例貸付に関する事務を含む）	随時	【本則】 申請件数 76件 決定件数 76件 貸付額合計 79,206,444円 【コロナ特例】 申請件数 12,991件 決定件数 13,342件 貸付額合計 5,379,750,000円
・社会福祉資金貸付	随時	貸付実績 0件
・入学準備金貸付	随時	貸付実績 0件
・ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付	28件（入学16、就職12）	貸付実績13件 （入学8、就職4、住宅1） 貸付額合計 4,960,000円 （前年度貸付実績 9件 貸付額合計 3,600,000円）

（3）判断能力が十分でない方への支援

内 容	実施回数・目標等	実 績
① 日常生活自立支援事業の実施		
ア 利用者増加とサービス提供体制の整備【重点】	新規契約50件	27件
イ 利用援助、金銭管理、あずかりサービスの適正な実施		

内 容	実施回数・目標等	実 績
・ 県運営監視合議体報告、現地巡視受入れ	年 6 回	年 6 回 (内 1 回現地巡視受入れ)
・ 実施状況調査 (内部監査)	年 6 回 (市 1 回、各区 1 回)	年 6 回 (市 1 回、各区 1 回)
ウ 契約締結審査会の開催	年 6 回	年 6 回
エ 専門員会議の開催	年 12 回	年 8 回
オ 専門員研修会の実施	年 4 回	年 2 回
カ 生活支援員情報交換会の開催	各区 1 回	年 4 回 ※コロナ禍により 1 区中止
キ 生活支援員研修会の実施	年 1 回	年 1 回
ク 業務検討委員会の開催	年 6 回	年 4 回
② 成年後見制度の利用促進と普及啓発		
ア 仙台市成年後見総合センターの運営	相談件数 528 件	571 件
イ 成年後見制度の普及・啓発 (講師派遣)	年 12 回	年 5 回
ウ 市民後見人の受任支援の実施		
・ 新規受任【拡充】	年 10 件	1 件
・ 助言等活動支援【拡充】	158 件	48 件
エ 市民後見人の後見監督業務の実施【拡充】	79 件	27 件
オ 市民後見人養成研修 (第 3 期) の実施【重点・新規】	養成 30 名	19 名
カ 成年後見制度・市民後見人普及啓発事業の実施	年 2 回	0 回 ※コロナ禍により中止
キ 成年後見セミナーの開催	年 1 回/134 名 	11/20 開催 215 名参加 (会場 85 名・オンライン 130 名)

内 容	実施回数・目標等	実 績
ク 仙台市成年後見サポート推進協議会の運営 ・令和元年度及び令和2年度に設置した部会の検討を踏まえた今後のサポ協の具体的あり方の検討	年6回	年6回（コロナ禍により、内3回は書面開催）

II 指定管理施設における確実な事業推進

(1) 高齢者施設の運営と通所介護事業の収益改善

内 容	実施回数・目標等	実 績
① 老人福祉センターの管理運営（大野田・台原・高砂・郡山）		新型コロナウイルス感染拡大による休館（44日間） ①R3.4.1～5.11 ②R3.8.30～9.12
ア 利用者の確保 ・大野田老人福祉センター	延べ35,200名/年	延べ18,752名/年
・台原老人福祉センター	延べ70,500名/年	延べ18,950名/年
・高砂老人福祉センター	延べ37,300名/年	延べ15,281名/年
・郡山老人福祉センター	延べ26,200名/年	延べ11,328名/年
イ 「生活支援通所型サービス」の拡充（台原・高砂・郡山） デイサービスセンターとの協力事業 ・週2回のサービス提供日を継続し利用者数の増加を図る	実利用者数15名以上/月	年間平均利用者数14.89名/月
ウ 併設事業所の連携・協力体制の強化（併設4事業所会議の開催）	各センター年6回以上/年	3センター平均年12回開催
エ ボランティア交流会の開催	各センター年2回以上/年	郡山1回、大野田3回
② デイサービスセンターの運営（台原・高砂・郡山）		
ア 通所介護・通所介護型サービス ・台原デイサービスセンター	平均利用者数 台原：15.7名/日以上	平均利用者数 台原：14.55名/日
・高砂デイサービスセンター	高砂：16.5名/日以上	高砂：13.04名/日
・郡山デイサービスセンター	郡山：19.0名/日以上	郡山：16.58名/日
イ 「生活支援通所介護型サービス」の拡充【再掲】		

内 容	実施回数・目標等	実 績
・週2回のサービス提供日を継続し利用者数の増加を図る	実平均利用者 15 名以上/月	年間平均利用者数 14.89 名/月
ウ 営業活動（利用者確保） ・居宅介護支援事業所および地域包括支援センター等への訪問活動	毎月随時実施	毎月実施
・地域包括支援センター等が開催する介護予防教室等への人材派遣	随時	OT、PT 派遣計 7 回
エ 広報活動 ・社協だよりへの記事掲載	年 2 回	年 1 回
・パンフレットの作成	年 1 回	なし
・デイサービスおよび老福センターだよりの作成及び掲載	月 1 回	3 センター平均年 13 回
オ 利用者募集エリアの拡大等検討	各センターで実施	各センターで実施
カ デイサービスセンター内覧会の開催	各センター年 2 回以上	新型コロナ感染拡大により中止
キ 利用者満足度向上および業務効率化による経費削減の推進 ・デイサービスセンター会議の開催	各センター年 4 回以上	3 センター平均年 14 回開催
③ ケアプランセンターの運営（五橋・台原・高砂・郡山） ア 居宅介護支援の実施 ・介護支援専門員 1 人当たりの標準担当件数（35 件/月）を維持し、収益の確保に努める。	各センター 35 件/月	R3.4～R3.8（五橋 9 月より休止） 4 センター平均 31 件/月 R3.9～R4.3 3 センター平均 33 件/月
④ 地域包括支援センターの運営（五橋・台原・高砂・郡山） ア 地域支援事業 ・生活支援コーディネーターを中心に各区事務所等と連携し、地域の実情に応じた支援を行う。 イ 介護予防支援業務 ・要支援認定者及び事業対象者に対し、自立した生活が送れるよう介護予防プランを作成し、支援を行う。	随時対応 随時対応	地域課題を共有し、実情に合わせた支援を実施した。 介護予防支援給付費請求件数 五橋 3,258 件、台原 3,868 件 高砂 3,150 件、郡山 3,237 件
ウ 相談対応 ・高齢者の各種相談に幅広く総合的に対応し、高齢者の困りごとに対して必要なサービスや制度等を紹介し解決に導く。	随時対応	相談件数 五橋 1,415 件、台原 1,008 件 高砂 1,041 件 郡山 628 件

(2) 指定管理施設の対応

内 容	実施回数・目標等	実 績
① 次期指定管理公募への対応（11施設）【重点】 台原老人福祉センター・デイサービスセンター、高砂老人福祉センター・デイサービスセンター、郡山老人福祉センター・デイサービスセンター、宮城社会福祉センター、泉社会福祉センター、泉障害者福祉センター、泉ふれあいの家、泉ひまわりの家	対応決定と手続き等	11施設すべての施設において、指定管理事業所に指定された。

(3) 障害者施設の運営

内 容	実施回数・目標等	実 績
① 泉障害者福祉センターの管理運営		
ア 管理運営事業	延べ5,200名/年	延べ1,954名/年
イ 自立訓練（機能訓練）事業の実施	平均利用者数6名/日	2.9名/日
ウ 施設見学会の実施	年3回	1回11/16～26（申し込みがあり次第、個別に対応。期間中3組3名来訪、期間後2組3名来訪）
エ 理学療法士等による医療機関への訪問	年3回	中止
オ 修了者の会（フォローアップ）	年2回	1回(9/25)、2回目は中止
カ 在宅障害者スポーツ教室	年2回	1回(9/25)、2回目は中止
② 泉ふれあいの家の管理運営		
ア 生活介護事業	契約利用者数15名	契約利用者数15名
イ 就労継続支援（B型）事業	契約利用者数19名	契約利用者数18名
③ 泉ひまわりの家の管理運営		
ア 生活介護事業	契約利用者数21名	契約利用者数22名
④ 障害者相談支援事業所（ふらっと青葉・泉）の運営		
ア 基本相談		

内 容	実施回数・目標等	実 績
・ふらっと青葉	相談件数 7,703 件	相談件数 8,037 件
・ふらっと泉	相談件数 1,460 件	相談件数 1,873 件
イ 計画相談支援		
・ふらっと青葉	請求件数 274 件	請求件数 285 件
・ふらっと泉	請求件数 236 件	請求件数 244 件
⑤ 合同研修の実施（泉障害者福祉センター、泉ふれあいの家、泉ひまわりの家）		
ア 研修委員会	年 6 回	3 回（11/16、12/23、1/18）
イ 障害福祉サービス従事者研修	年 2 回	2 回（2/15、3/1）
ウ 交換研修	随時	新型コロナウイルス感染拡大のため見合わせ

（４）福祉プラザ、社会福祉センター

内 容	実施回数・目標等	実 績
① 福祉プラザの管理運営		新型コロナウイルス感染拡大により、1 階ロビー利用休止のため中止
ア ふれあい広場ミニコンサート	10 回	
イ 福祉施設製品合同販売会（手づくり市）【重点】	2 回	1 階ロビー利用休止のため、代替で入居団体を対象に注文販売実施
ウ 認知症カフェ（ふれあいカフェ）【重点】	10 回	4 回（新型コロナウイルス感染拡大のため 6 回中止）
② 社会福祉センターの管理運営（泉・宮城）		
ア 管理運営		
・宮城社会福祉センター	延べ 34,400 名/年	延べ 8,360 名/年
・泉社会福祉センター	延べ 24,400 名/年	延べ 12,977 名/年
・大規模改修工事への対応 宮城社会福祉センター R3 年度実施設計/R4 年度改装工事予定		6/8 設計打合せ参加 11/10・11 利用団体向け説明会

内 容	実施回数・目標等	実 績
イ 子育てサロン（宮城）	年 9 回	年 8 回（1 回中止）
ウ 地域生活支援講座（障害者支援）（宮城）	年 2 回	年 2 回
エ 手話教室（昼・夜）（泉）	年 2 回（各 1 回）	2 回（各 1 回）
オ 親子向け講座（泉）	年 4 回	1 回（手話）、点字は中止

（５）社会福祉事業従事者研修等の事業

内 容	実施回数・目標等	実 績
① 社会福祉法人・施設職員研修事業	年 8 回	年 7 回
② 地域包括支援センター職員研修事業	年 11 回	年 11 回
③ 保育所等職員研修事業		
ア 仙台市主催研修		
・階層別研修	年 8 回	年 7 回
・専門研修	年 44 回	年 37 回
・スキルアップ研修	年 6 回	年 4 回
イ 仙台市保育所連合会主催研修		
・階層別研修	年 10 回	年 9 回
・専門研修	年 9 回	年 9 回
・講演会	年 2 回	年 2 回
ウ 子育て支援員研修		
・基本研修・専門研修・見学実習	年 4 回	年 3 回
・フォローアップ研修	年 2 回	年 2 回
④ 介護相談員派遣事業	訪問施設 55 施設	Webでの面談 11 施設

Ⅲ 組織体制の強化と経営基盤の確立等に向けた取り組みの推進

(1) 組織体制の強化

内 容	実施回数・目標等	実 績
① 今後の法人運営に係る課題検討と見直し【重点】	適宜実施	意見交換6回(各区・支部社協1回)、見直し案説明6回(〃)
② 主要会議の開催		
・理事会の開催	6月(2回)、11月、1月、3月	6月(2回)、11月、3月
・評議員会の開催	6月、11月、3月	6月、11月、3月
・監事会の開催	5月、11月	5月、11月
・会長・副会長会議の開催	5月、11月、3月	5月、11月、3月
・評議員選任・解任委員会の開催	6月、随時	6月
・基金及び積立金運用委員会の開催	年1回	開催なし
・各区・支部社会福祉協議会の開催	18回(各3回/区・支部)	18回(各3回/区・支部)
③ 社会福祉法に基づく書類の備置・閲覧及びインターネットでの公表	6月	6月
④ 地域協議会の開催運營業務の受託	6月	開催なし(地域公益事業を実施する社会福祉法人がないため)
・地域協議会の開催		
⑤ 「中期事業計画(経営計画)」の策定【新規・重点】	令和4年3月策定	策定準備
⑥ 災害発生時における事業継続計画(BCP)の策定	3月	策定準備
⑦ 人材育成への取り組み		
・階層別研修(新規採用職員研修、初任層職員研修、中堅職員研修、管理職員研修、採用内定者研修)	新規採用職員研修2回、その他研修各1回	新規採用職員研修2回、新規採用正職員研修2回
・テーマ別研修(ハラスメント防止研修、メンタルヘルス研修、安全運転研修、地域福祉テーマ研修)	各1回	ハラスメント防止研修、メンタルヘルス研修、広報担当者研修、情報セキュリティ研修

内 容	実施回数・目標等	実 績
・コミュニティソーシャルワーカー（CSW）スキルアッププログラムの受講	5名	4名
・CSW実践者研修	年3回	3回
・全社協や県社協等が実施する研修への参加	随時	延べ45名参加
・福祉関係資格（社会福祉士等）取得の促進	通信教育受講料2名助成	通信教育受講料2名（介護職員初任者研修1、介護職員実務者研修1）、その他受講料等助成6名
・人事考課に基づく人事給与への反映【拡充】 業績評価の実施及び勤勉手当（成績率）への反映	6月、12月	6月、12月（係長職以上の職員）
能力評価の実施及び定期昇給への反映	1月	1月（初任層職員を除く正職員）
⑧ 働き方改革への対応（労働生産性の向上）【重点】 ・勤怠システムの導入	10月導入	10月導入、12月から試行運用開始
⑨ ICT機器の導入【重点】 ・オンライン会議の実施	随時	随時実施
・タブレットの導入によるペーパーレス化の推進	6月導入	10月導入（16台）
⑩ 職場の安全衛生及び職員のメンタルヘルスの取り組み ・安全衛生委員会の開催	月1回	11回（3月は地震の影響で中止）
・衛生管理者（1名）及び衛生推進者の配置	衛生推進者：全事業所	衛生推進者：全事業所配置
・産業カウンセリングの実施	24名（2名/月）	指定日実施：24名（2名/月） 随時実施：1名
⑪ 苦情解決事業の実施 ・相談受付体制の整備	全事業所	全事業所
・苦情解決第三者委員の配置及び研修	配置：7名、研修：1回	配置：7名、研修：1回
・苦情解決相談窓口の開設（高齢者施設及び障害者施設）	各2回/施設	各2回/施設

(2) 経営基盤の強化

内 容	実施回数・目標等	実 績
① 会員会費の増強等自主財源の確保（広報の強化）【重点・拡充】 ・社協会員の募集（特に法人会員及び施設・団体会員の加入促進） ・会員会費等についてのあり方の検討 ・寄附の呼びかけ	会員数（法人：280、施設：220、 団体：130） 随時	会員数（法人：264、施設：211、 団体：104） 随時実施
・法人会員・寄附者名のホームページや社協だよりへの掲載	随時	随時実施（90件、6,457千円＋固 定資産受贈2,000千円）
・広告掲載の募集（ホームページバナー広告、社協だよりせんだい紙面告 告）	バナー広告7枠、紙面広告12枠 （4枠/1号）	バナー広告：1枠 紙面広告：0枠
・収益事業（自動販売機の設置）の実施	10台設置	10台設置、344千円
② 今後の法人運営に係る課題検討と見直し【重点・再掲】	適宜実施	意見交換6回（各区・支部社協1 回）、見直し案説明6回（〃）
③ 他の社会福祉法人との連携推進【重点】		意見交換会開催（1/18）
④ 内部監査の実施	書面監査年1回（全事業所）、 実地監査2箇所	書面監査年1回（全事業所）、 実地監査2箇所（若林区事務所、 郡山センター〔老福・デイ・包括・居 宅〕）
⑤ 創立70周年記録誌の作成【重点】	令和4年3月発行	作成準備
⑥ 広報活動への取り組み【重点・拡充】 ・「社協だよりせんだい」の発行【再掲】	3回（8月、12月、4月）	3回（8月、12月、4月） 発行部数370,440部/回
・ホームページの管理運営	随時	随時更新、トップページ改修

内 容	実施回数・目標等	実 績
・ SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)による情報発信	随時	Facebook の更新 (若林区事務所) 令和 3 年 12 月に YouTube チャンネル「せんだい社協チャンネル」開設。 チャンネル登録数：19 総投稿動画数：9 動画総再生回数：962

(3) その他の事業

内 容	実施回数・目標等	実 績
① 令和 3 年度指定都市社協・民児連連絡協議会の開催【重点・新規】	7 月 15～16 日	会議開催は中止し、協議題・情報交換事項を取りまとめた冊子を作製・配付
② 仙台市社会福祉大会の開催	9 月 1 日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 表彰状・記念品等の送付 (234 名 27 団体)
③ 各種福祉団体等の支援 ・ 仙台市民生委員児童委員協議会 ・ 仙台市共同募金委員会 ・ 日本赤十字社宮城県支部仙台市地区本部 ・ 仙台市ほほえみの会 (里親会) ・ 仙台市遺族会 ・ 仙台市老人福祉施設協議会 ・ 仙台市地域包括支援センター連絡協議会	適正な実施	

